



的をねらって消火訓練
～児童クラブれんこん村～

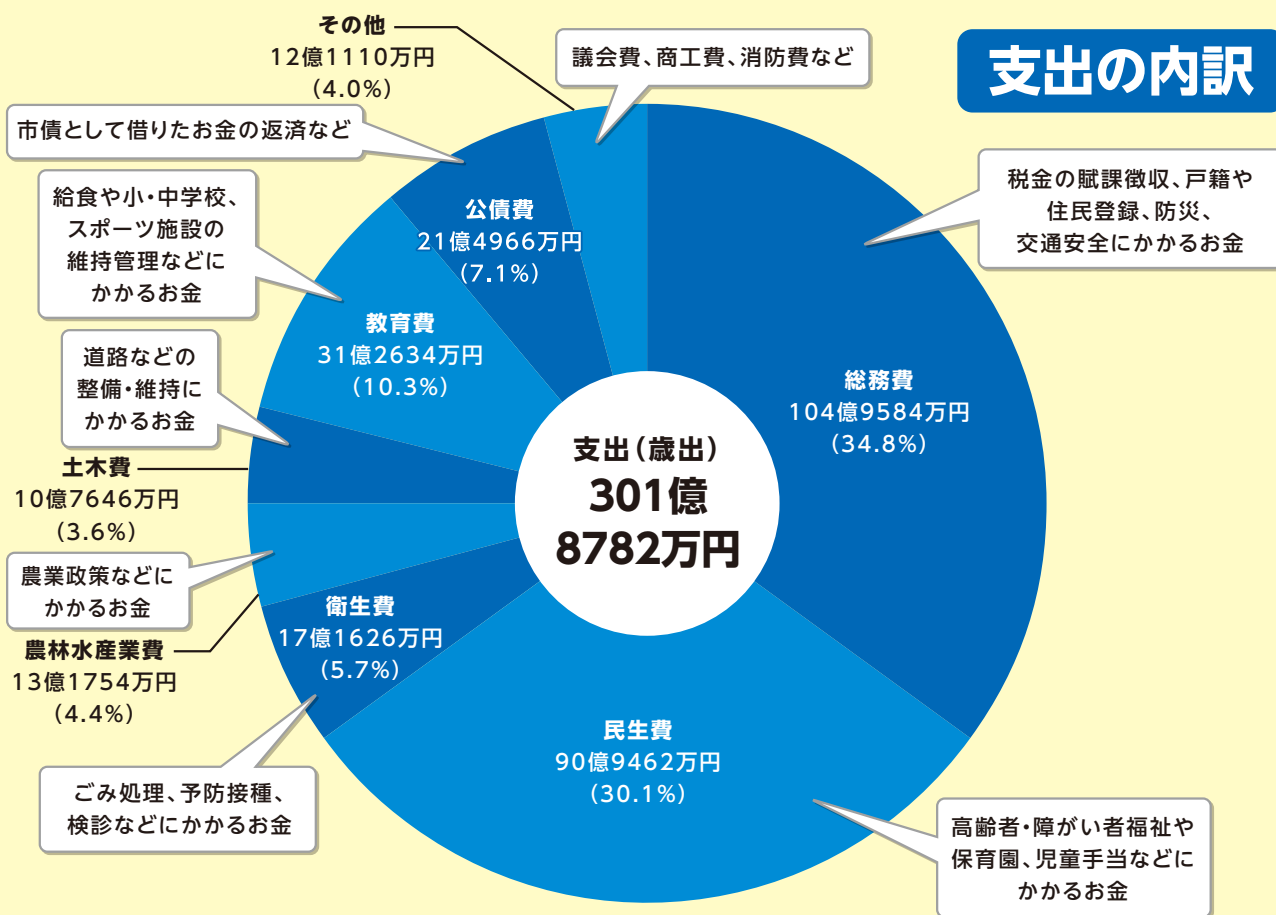
 **愛西市** AISAI CITY
議会だより ASSEMBLY

No.66
2021.11.1

9
月
定
例
会

特集 **令和2年度決算** 2
 議論の中から新発見 4
 一般質問 **～市政を問う～** 6
↑キイキコーナー 第10回
 空手道連盟 17
 取材しました! 愛西市の偉人 三輪市太郎 18

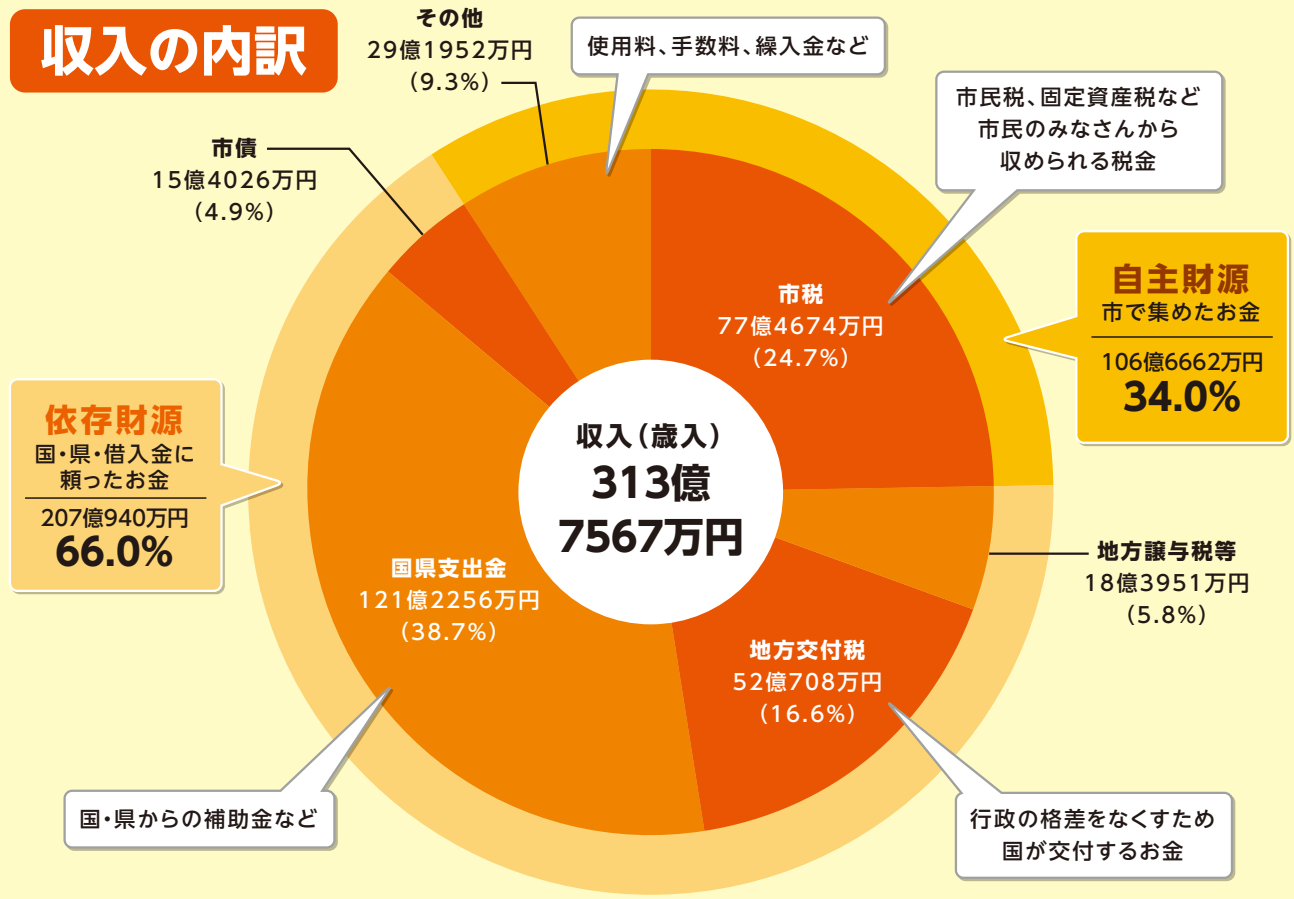
支出の内訳



事業名称	事業費決算額 (千円)	財源	
		国・県	市
特別定額給付金事業	6,289,933	○	
新型コロナウイルスワクチン接種事業	12,278	○	
子育て世帯臨時特別給付金事業	75,953	○	
ひとり親世帯臨時特別給付金事業	57,590	○	
上水道料金免除補助事業	118,407	○	
小中学校給食費無償化等事業	214,562	○	
愛西市プレミアム付商品券補助事業	103,580	○	
商工業者のための冬支度応援事業	35,445	○	○
愛西市農業担い手応援事業	21,330		○
運動習慣促進応援事業	6,375	○	
新生児子育て応援給付金事業	23,008		○
その他33単独事業	539,302	○	○
事業費総額	7,497,763		

新型コロナウイルス感染症が、市民生活及び経済活動に甚大な影響を与えていることを踏まえて、生活・経済活動を支援するために補正予算を成立させました。多くの事業を実施することによって生活の安定を図りました。

収入の内訳



▲プレミアム付商品券
上:大型店・中小店共通券
下:中小店専用券

プレミアム付き
商品券事業

Q 商品券補助事業の販売実績で第2回目の抽選に選ばれた人数は。また、この抽選で1万円、2万円の選択ができるが、その内訳人数は。

A 抽選に漏れた人数は、807人。内訳は把握していない。

Q 使用期間が過ぎ、商品券の未使用金額は発生しているか。

A 未換金額は133万1500円。

新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金

Q 国庫支出金は、前年対比77億円の増額だが、この支出金の中で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の合計金額は。

A 9億96万1千円。

Q 新型コロナウイルス感染症緊急対策の申請事業者は本市の事業者全体の何割に当たるのか。

A 休業要請協力金の対象事業者は、経済センサスによると愛知県の試算で325件。その内7割にあ

Q 申請事業者の職種は、どういったものが多いか。

A 食事提供施設78件、商業施設67件、学習塾等60件、遊興施設等15件、運動遊技施設8件、集会展示施設1件。

たる229件の申請があった。



◀体温測定器と消毒液
(佐屋保健センター)

討論 令和2年度一般会計決算

賛成

バランスの取れた財政運営

新型コロナウイルス感染症は、市民生活に依然として様々な影響を及ぼしている。令和2年度は、主な事業として特別給付金の支給、水道料金の減免、小中学校の給食費の無償化、プレミアム付き商品券の発行、公共施設の感染予防対策の実施などの事業を展開した。一方で、佐屋駅周辺整備や公共施設の老朽化に伴う改修など事業を進め、10年先、20年先の愛西市を見据えた事業を積極的に取り組んだことを評価する。

反対

感染症対策だけでは不十分

決算額は前年比35.6%の増額だ。増額の主な理由は、新型コロナウイルス感染症対策だ。感染拡大対策として「誰でも無料で受けられるPCR検査」、クラスターが心配される市役所や学校などでの定期的な検査は実施されていない。また、経済的に厳しい家庭は、子どもに届くべきサービスが届いていない。農村地帯では、高齢者世帯が目立ち「この大きな家と田畑はどうしたらいいのか」との悩みが多い。教育については、小中学校施設老朽化対策事業を早く進め、子どもの学びの環境を整えることを求める。

議論の中から新発見

高潮ハザードマップが追加配布されます

愛知県の新しい高潮浸水想定を元に、愛西市の高潮ハザードマップを作成します。

225万4千円

Q 前回配布されたハザードマップとどう違うのか。

A 令和3年4月に洪水・地震ハザードマップを配布した。愛知県が6月11日に「高潮浸水想定区域」を指定したので、追加作成した。

Q 災害の想定は。

A 日本に上陸した過去最大の室戸台風級による伊勢湾沿岸の最大規模の高波を想定し、防波堤や河川の堤防が決壊した場合の浸水の想定をしている。

Q 今回の高潮ハザードマップでの避難者数の想定は。

A 県の浸水想定には、人数の想定がないので、市としてもない。



▲4月に配布されたハザードマップ

学校の手洗い場が一部自動水栓になります

学校のコロナ対策の充実をします。
1688万5千円

Q なぜ一部の蛇口なのか。

A 蛇口に触れる機会を可能な限り減らすために交換する。自動水栓は、出てくる水量が一定であり、たくさんの水が必要な場合の対応のため、一部取り付けを進める。



▲自動水栓の蛇口

Q 設置数と費用は。

A 小学校に197カ所、中学校に110カ所を予定している。費用は、据え付け費込みで約5万円だ。

スポーツ施設予約システムが導入されます

インターネットでスポーツ施設の空き状況の確認や予約申し込み及びキャッシュレス決済ができるシステムを導入します。
781万1千円

Q システム導入により予約方法はどのように変わるのか。

A 申請書の記入負担を軽減し、窓口サービスの向上を図るため、パソコンやスマートフォンなどのインターネットで、施設の空き状況を確認し、予約申し込み後、オンライン決済が可能となる。

Q システムは、どのようなものを導入するのか。

A 愛西市の実情にあった仕様にする。

Q 利用者登録方法は。

A 利用者ID登録をし、てもらう予定だ。

Q 年間のシステム利用料は。

A 年間170万円程見込んでいます。

Q ネット予約開始はいつからか。

A 令和4年4月から、7月分の申し込みの運用開始となる。

Q 決済方法は。

A クレジットカード決済やスマートフォン決済を予定している。

Q キャッシュレス決済ができるシステムを導入している自治体は。

A 近隣では、あま市、大治町、稲沢市だ。

Q キャンセルへの対応はまだ決まっていない。

Q 学校体育施設の利用申請は。

A これまでと同様の方法だ。

◆◆意見書◆◆

今定例会で次の意見書が採択されました。

■国への意見書

▼コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

▼定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

▼国の私学助成の拡充に関する意見書

令和3年第2回臨時会および9月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成 ●：反対

会 派	新生愛西クラブ										日本共産党愛西市議団			あいさいクラブ		公明党あいさい		無会派	無会派
	審議結果	鬼頭勝治	杉村義仁	島田浩	神田康史	鷲野聡明	近藤武	佐藤信男	原裕司	石崎誠子	河合克平	真野和久	加藤敏彦	山岡幹雄	大宮吉満	竹村仁司	高松幸雄	吉川三津子	馬淵紀明
9月定例会議案																			
令和2年度愛西市一般会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市水道事業会計決算の認定について	認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
令和2年度愛西市下水道事業会計決算の認定について	認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
「市民の知る権利」である情報公開制度を守るための請願	不	●	●	議	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●
議会一般質問のインターネット放映を求める請願	不	●	●	議	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●
常任委員会議事録のホームページ公開を求める請願	不	●	●	議	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●
「市民の権利である請願権」を守るための請願	不	●	●	議	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○

*審議結果の「認」は認定、「不」は不採択、「可」は可決です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。
*第2回臨時会の議案については全員賛成。

市政を問う



10議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり40分です。

●定例会第2日目および第3日目に、10人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

9月6日

原 裕司 議員(P7)

- ◆農村環境改善センター跡地利用の考えは

真野 和久 議員(P8)

- ◆資材置場建設 住民不安解消へ市の対応は
- ◆学校適正化方針前提で懇談するな

石崎 誠子 議員(P9)

- ◆若い世代へ認知症の理解をどう深めるか

河合 克平 議員(P10)

- ◆子どもたちの命を守る通学路の対策を
- ◆本庁舎の巡回バスのバス停に屋根を

吉川 三津子 議員(P11)

- ◆立田八開学校統廃合は白紙にし市全体で

9月7日

竹村 仁司 議員(P12)

- ◆SDGs未来都市 市の考えは

佐藤 信男 議員(P13)

- ◆スーパー伊勢湾台風 広域避難のルールは
- ◆中央図書館の長寿命化や工事計画は

馬淵 紀明 議員(P14)

- ◆寺院等と協定を結んでいるのか
- ◆道の駅周辺整備 効果ある施策を

加藤 敏彦 議員(P15)

- ◆8月のコロナ感染者28倍 市の考えは

山岡 幹雄 議員(P16)

- ◆農地で所有者不明の公共施設の改善は
- ◆水道メーター器を通れば市民の管理



農村環境改善センター 跡地利用の考えは

原 裕司議員

状況を考慮し国と協議、施設を整備する
市長



▲取り壊される農村環境改善センター

問 農村環境改善センターは、輪中地帯である立田町福原地区の避難所の位置づけであった。取り壊しにより、唯一の避難所がなくなることで、不安の声も寄せられている。跡地利用の考えは。

答 跡地には、国土交通省の防災拠点を早急に整備するよう協議を進めている。それに併せ、地元から要望がある一時的な避難場所として活用できる施設整備を考えている。

問 協議では、防災拠点にどのような物を整備するのか。

答 堤防決壊などの際、いち早く対応するため「復旧用土砂」「根固めブロック」などの資機材の備蓄スペースや、ヘリポートを整備することで、この地域の防水機能の強化につながるよう国と調整している。

問 センター周辺の堤防からは、名古屋駅周辺に

立ち並ぶ商業ビルや御嶽山が見え、近くには、千本松原や船頭平閘門などの歴史的建造物もあり、多くの方々が来場されている。地域の資源をみんな

で活かす本市の「かわまちづくり計画」の進捗状況は。

答 ケレップ水制周辺整備と三川公園周辺整備や散策路、観光船ルートの充実を図るため、これまでに継続事業として堤防から川辺まで下りるための坂路整備や樹木伐採を進めている。

ている。

平時にも、道の駅や東海広場等に多くの方々が訪れている。この状況も考慮しながら施設整備をすることが必要だ。

国と協議、調整を行い、一日でも早く整備が行われるよう我々としてもしっかりと努力していく。

その他の質問

●立田ふれあいの里を「防災道の駅」に

問 今後、防災拠点の整備に合わせ、水辺の観光資源や環境も生かした「川の駅的な建屋」を整備し、福原地区の一時避難場所として活用することも一つの手法だ。市長の考えは。

答 国において広域的な避難施設を整備する計画がある。この計画と併せて整備するべきだと考えて

資材置場建設 住民不安解消へ市の対応は

真野 和久議員

状況を注視し事業者に対処する

産業建設部長



▲資材置場予定地(町方町大山田)

問 佐織地区新開地域の資材置場建設について、住民に対して説明会があった。説明会では、道路が狭くてもよいという心配や、トラックをめぐる交通安全の問題、また粉じんなど様々な意見や不安の声が出されたと聞く。事業者は対応を約束しているようだが、現場近くの住民は、約束がしっかりと守られるか、また新たな問題が発生するのではないかという不安の声

が出ています。市も説明会に立ち会っており、しっかりとした対応を求める。

答 建設の条件や規制は、

水田を資材置場に變更するに当たり、事業者には農地法上の許可や周知条例に基づく関係住民への意見聴取結果についての報告が必要だ。

問 住民から寄せられた意見や不安の解消のために、市の対応は、

心配する声が多かった。心配する声が多かった。

たトラック通行による道路舗装の破損については、

造成工事前後の道路状況を市土木課、地元代表、事業者側の関係者が立ち会い、結果を踏まえて対応する。

これ以外にも状況を注視し、住民から相談があった場合に事業者に対し、適切に対応する。

学校適正化方針 前提で懇談するな

問 小・中学校規模適正化についての住民との懇談の状況について、今年度は何回行ったのか、またその内容は、

現在までに1度行った。内容は、適正化に反対の立場からの意見や、地域の考えに対する教育委員会の把握状況、学校施設の老朽化対策の状況などだ。

問 6月の代表質問で、

教育長は地域のいろんな意見を聞きたいと答弁した。市長は、施政方針に対する質問の中で、地域の方々がどういった形の学校を望んでいるのかしっかりと教育委員会を把握して欲しいと答弁した。

地域住民からしっかりと意見を聞くためには、今の教育委員会の方針を前提としたやり方では難しいのではないかと。住民に理解を今後も求めていきたい。



若い世代へ認知症の理解をどう深めるか

石崎 誠子議員

考える事に重きを置き更に理解を深める
保険福祉部長



▲QRコード付「高齢者見守りステッカー」

問 清林館高校の生徒からの提案で事業化に至った「高齢者見守りステッカー配布事業」の概要は。

答 認知症またはその疑いのある方が独り歩きしてしまった場合に、事前に衣類等に貼ったQRコード付の見守りステッカーを発見者がスマートフォン等で読み取ることで、家族や介護者とインターネット上の伝言板を通して情報交換でき、早期保護に繋ぐ事ができる。

問 利用者から届いた声は。

答 「家族の安心を得ることができ的事业」「行方不明時の早期発見の確率が上がる」など、効果を期待する意見があった。

問 誰でも発見者になり得ることから、市外の方も含め、ステッカーの認知度のアップや近隣自治体への周知方法は。

答 海部地域では初の試み。広域においてステッカーの存在を周知する必要がある。近隣自治体・警察・消防へは知らせているが、今後は隣接する桑名市や海津市の消防・警察等へ周知を行う。

問 ステッカーは正面から見て分かりやすい場所に貼られているのか。発見者がどのように行動すれば警戒されずにQRコードを読み取れるのか。

答 ステッカーは正面から見て分かりやすい場所に貼られているのか。発見者がどのように行動すれば警戒されずにQRコードを読み取れるのか。

答 発見者が読み取る際に利用者に不安心や恐怖心を与えないよう、ステッカーは衣類の襟首と右側上腕部に貼り付けるよう勧めている。複数人ではなく一人で優しく声を掛けて欲しい。

問 若い世代へ認知症の理解をどのように深めているのか、市の対応は。

答 児童生徒に対しては「福祉実践教室」の一つとして、認知症サポーター養成講座を実施している。これまでの講義形式から、今後は個人ワーク等を通じて「考える」ことに重きを置き、更に理解を深めるよう努める。

その他の質問

●地域内要望の現状は

問 清林館高校から提案された検索・保護に関する訓練は実施されたのか。

答 今後、模擬訓練を実施し、より良い対応方法などに活かしたい。

子どもたちの命を守る 通学路の対策を

河合 克平議員



施工できるものから順次行っていきたい

産業建設部長



▲佐屋西小の危険な通学路(須依町)

問 子どもたちの命を守るため、通学路の安全検証と併せて、どう安全な通学路を確保していくのか。

答 千葉県八街市の事故を、安全対策上、重大な事故と捉え、本市でも学校や保護者、スクールガード、交通指導員、道路管理者、警察などと協力しながら通学路における事故の最大限の防止を目指し、各学校に「通学路緊急点検実施について」を通知し

た。

問 通学路緊急点検の結果は。

答 緊急点検による報告数は、佐屋地区40カ所、立田地区8カ所、八開地区11カ所、佐織地区21カ所の報告があった。

通学路の緊急点検により危険箇所として報告された場所については、警察など関係部署と協議を行い、有効な安全対策を講じたい。

問 いつまでに有効な対策を取るのか。

答 警察等関係部署と協議を行い、施工できるものから順次行っていききたい。

問 佐屋西小学校の通学路と町方地区の交差点は、いつまでにどのように行うのか。市長の見解は。

答 民地等があり、現状での道路構造上の改善は難しい。通学路の変更も考え、危険な箇所を通学路にしない。

通学路の安全対策は重要な課題である。安全上、問題がある箇所は、関係者と現地確認、協議、協力を行い、対応していく。

本庁舎の巡回バスのバス停に屋根を

問 市長は、バス停の屋根についてどう考えているか。

答 特に庁舎のバス停に

については、議員の指摘とおり、バスを待っている市民にとっては、日よけがない、また雨をしのぐ場所がないということで、大変不便をかけていると認識している。

今後は、本庁舎のみの対応をすればいいのか、各停留所の件もあるので、巡回バス検討委員会にて検討してもらい、市として手順に沿って対応していかなければならない。



立田八開学校統廃合は白紙にし市全体で

吉川 三津子議員

1年で子ども100人減少は注視すべき
教育長

小学校の児童数

現在	6年後の予測 (1年生)							
	合計	1	2	3	4	5	6	
永和小	355	243	36	44	44	38	44	37
市江小	223	174	26	23	28	31	35	31
佐屋小	569	520	55	85	92	98	86	104
佐屋西	241	212	31	34	33	42	40	32
立南小	147	97	12	14	17	22	10	22
立北小	145	109	7	19	19	17	23	24
八輪小	101	95	10	15	23	15	13	19
開治小	77	71	4	12	11	8	14	22
北河田	319	251	30	40	41	50	44	46
勝幡小	217	170	21	31	29	30	36	23
草平小	278	208	29	26	35	37	33	48
西川端	220	210	28	44	35	36	36	31
計	2892	2360						

中学校の生徒数

現在	10年後の予測	
	現在	↓
永和中	225	126
佐屋中	530	485
立田中	184	108
八開中	97	84
佐織中	290	230
佐織西	285	212
計	1611	1245

1学年が1クラスの恐れ

▲小中学校別の児童・生徒数予測(6年後・10年後)

問 9年前、児童予測人数を示し、開治小で入学児童がかなり減ることを取りあげた。左表は、最新の予測データであり、厳しいのは立田・八開地区だけではない。永和中も1学年1クラスに近い状況だ。

答 この減少への認識は。引き続き減少が予測される。特に中学校が過小規模校となり、学校生活・部活、教員配置での悪影響が懸念され、改善に

向け取り組みが必要だ。

問 中学生は、親から先生や友人を頼るようになり、大勢の友人の中から親友を探し出し、大人へのプロセスを踏んでいく。また、中学が1学年1学級だとすると、たとえば国語の先生は3学年の国語を受け持つことになり、授業やテストなどの準備をし、部活をし、教員にかなりの負担となっている。

このままで十分な教育を提供できるか心配だ。市の認識は。

答 中学校の少人数クラスでは、人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくく、教職員数が少ないと、経験、教科、特性を生かした教員配置が行いにくくなる。

問 6年前、八開庁舎で適正規模地域懇談会に参加し、今決まっても建設が始まるのに5年必要と説明もあった。

みんなで話し合い、よりよい教育現場を作っていくかねば、そのツケを背負うのは子どもたちだ。八開・立田統廃合後に、他地域に取り組むとも説明を受けてきたが、この方針は変わらないのか。今の状況は、子どもたちにとってよい状況なのか。一旦白紙に戻し、子どもの教育を一番に考え、特に大人になる過渡期にいる中学生の教育環境を確保しながら、市全体の方針を協議すべきでは。

答 適正規模・適正配置は、現時点で変えるつもりはないが、令和元年度と2年度比較で、1000人ほど減少していることは、注視せねばならない。

その他の質問

- 18歳成人を、消費者被害から守れ
- コロナ自宅療養者に市独自の支援を

SDGs未来都市 市の考えは

竹村 仁司議員



計画は国の選定で効果的に実行できる
企画政策部長

問 SDGs未来都市に関する考えは。

答 国よりSDGs未来都市に選定されることになれば、掲げた計画を国費の活用や各省庁からの助言により効果的に実行できる。

問 SDGs未来都市に必要な環境・社会・経済の3つの側面については。

答 環境面では、木曾川をはじめとする豊かな水辺空間と田園風景。社会

面では、協働によるまちづくり、持続可能なまちづくり、絆を大切にす

まちづくりの実現。経済面では、主要産業の農業振興、新規企業の誘致、既存産業の活性化、また道の駅を核としたまちに

問 第2次総合計画の前期の検証、また後期の策

答 SDGsの目標を意

識しつつ、総合計画の後期基本計画の策定を進めている。SDGs未来都市

の実現に向けては、企業やNPO、金融機関、大学や高等学校などの連携を進めていきたい。

問 清林館高等学校との官学連携事業であるSDGsのチラシを作るに至った経緯は。

答 「SDGsの達成に向けてできること」という地域課題に、ポスターとチラシを作成し、SDGsを市民一人ひとりに周知し、少しでも取り組んでいくことで始めた。

問 完成したポスターを貼り出すときには、清林館高等学校の生徒と市の職員、生徒と先生などと協働の観点も踏まえ、一緒に貼り出すということを実行しては。

答 地域とのつながり、パートナーシップを築けるよう、市の職員、清林館高等学校の生徒、先生と一緒に貼り出ししていきたい。



▲官学連携事業(清林館高等学校)

問 ホームページ、官学連携事業のプロジェクトの内容で、若者の声が多く取り組みは。

答 現場の高校生の声は貴重だと考える。プロジェクトの中で上がった意見も含め、ホームページへ掲載し、内容を充実させていきたい。



スーパー伊勢湾台風 広域避難のルールは

佐藤 信男議員

上陸24時間前までに避難情報を発表

企画政策部長

問 防災ハンドブックの活用の周知は。

答 防災メールや公式LINEを活用し目を通すよう周知している。

問 豪雨時における河川堤防点検は。

答 大雨等の警報発令時には、非常配備体制を取り、危険箇所を巡回する。出水状況により消防団も水防活動を実施する。

問 流れてきた水が行き場を失いあふれ出るバツクウォーター現象が起こりそうな河川の合流点は。

答 日光川と領内川、日光川と三宅川のそれぞれの合流部である。

問 豪雨時におけるこの地域の雨量限界レベルはどれくらいか。

答 国県の河川整備は、30年に一度程度の豪雨に対応。30年確率の基準降

雨量は24時間で、270ミリ程度、ピーク時の1時間雨量は80ミリ程度である。

問 水害対策でスーパー伊勢湾台風の備えは万全か。大型台風の直撃時、広域避難を呼びかけるルールは。

答 進行方向、勢力、伊勢湾の潮位が一定基準を超えた場合、上陸24時間前までに広域避難情報を発表する。

中央図書館の
長寿命化や
工事計画は

問 樹木の剪定や芝の刈り込みなど、年間何回くらい実施か。

答 樹木の剪定は、年2回。芝の刈り込みは、年3回。

問 電子書籍の導入は。

答 今後、ランニングコストや市民のネットサービス利用状況などを踏まえ検討する。

問 中央図書館は、建築後何年経過しているか。

答 26年経過している。

問 中央図書館の長寿命化対策や工事計画の内容は。

答 指定管理者と協議しながら長寿命化を進めていく。また、令和3年度に外壁等修繕工事、4年度には、空調設備の改修を予定。



▲心配される日光川と領内川の合流地点

寺院等と協定を結んでいるのか

馬淵 紀明議員



締結はしていない

市民協働部長



▲遺体安置所となる市総合斎苑

問 災害時、遺体安置所となる市総合斎苑が使用できない場合は、

答 市地域防災計画では、葬祭業者の施設を利用。不足する場合は、被災地の寺院等に設置する。

問 寺院等と、協定を結んでいるのか。

答 締結はしていない。

問 早急に結ぶべきでは。市全体、周辺市町村

も含めて考えていく問題であると認識している。

道の駅周辺整備 効果ある施策を

問 道の駅周辺整備では、知名度向上と来訪者増加、また、市内での消費機会の増加や経済効果を高めるために、滞在時間を長くする施策が必要と思う。ドッグランや水遊び場の

設置、また、レンタサイクル導入について、市の考えは。

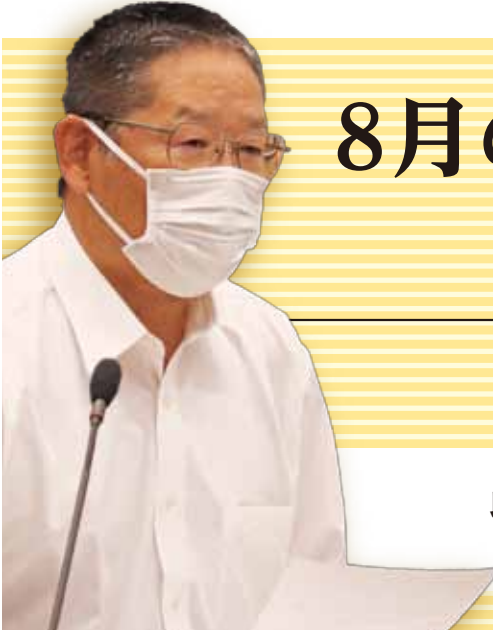
答 ドッグランは多種多様な付加価値をつける点で集客に効果はありと考えている。設置検討については、施設管理者等と協議していく必要がある。水遊び場の設置は、多世代で利用できる遊び場の整備を計画している。レンタサイクル導入は、現段階では考えていない。

その他の質問

● 自宅療養者、妊産婦への支援は



▲ドッグラン



8月のコロナ感染者28倍 市の考えは

加藤 敏彦議員

収束するよう様々な対応をしてきたい
市長



▲「PCRが大切」(田中純子広島大学副学長)

問 管政権は、国民の大

きな反対を押し切ってオリンピックを開催した。新型コロナウイルスの感染状況は「第5波」と言われ、五輪開催前の5倍に増えた。

答 日本共産党は「コロナから命を守るための緊急提案」を志位委員長が菅総理に提出した。

問 愛西市の感染者数及び死亡者は。
答 7月は1カ月で6人の感染者であったが、8月

は1カ月で171人、9月6日現在で593人と

なっており、総合斎苑で火葬のあった件数は12人。

問 8月の感染者数は7月の28倍になっている。市役所関係の感染状況は。

答 市役所職員6名。教職員6名、児童生徒32名。福祉施設8施設で17名。保育園等は18園で40名、児童館は5館で5名。

問 市役所関係で合計106名。この数字は6月議会から2倍になっている。

広島県では積極的に無症状者へのPCR検査をしてきたので感染者が陽性者の1.2倍と少ない。愛知は3.6倍の方が感染していたことが分かった。感染拡大を防ぐためPCR検査や抗原検査が必要だ。市の考えは。

答 9月6日現在、コロナワクチンの1回目接種済みの方が71.7%、2回目接種済の方が54.8%。継続的に検査を受けるとなれば、感染拡大を最小限に食い止めることも可能かと思う。現段階では積極的に実施する考えはない。

問 「月曜日に陽性となった市民に保健所から連絡があったのは金曜日だった」という異常な状態が明らかになった。津島保健所管内でも100人を超える感染者が出ています。市からコロナ感染者を出さないことについて市長の考えを伺う。

答 県や国やあらゆる関係機関と連携しながら一日も早くこのコロナウイルス感染症が収束するよう様々な対応をしてきたい。

農地で所有者不明の 公共施設の改善は

山岡 幹雄議員



法務局と連携を取り早期に解決する
市長



▲41人名義で農地のままの防火水槽

問 他の自治体はメーター器を通れば自己負担市も出来ないか。
答 現状のまま進める。

問 メーター器を替えたために民地内で漏水が発生した時の負担は。
答 取り替え作業が原因で漏水工事が必要になった場合は、市水道事業が負担する。

●大雨による災害対策は

その他の質問

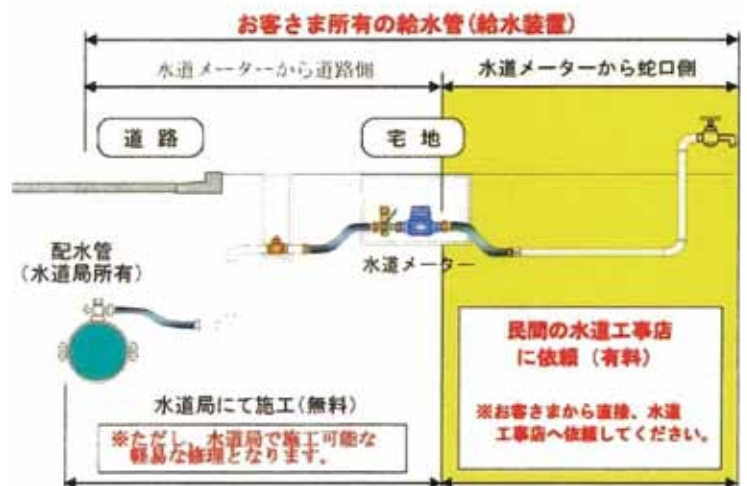
問 市の行政財産に個人の土地と所有者不明土地が何筆あるのか。
答 個人所有が195筆、所有者不明は32筆だ。

問 公共施設で相続してない41人名義の農地について、総代が市に相談したらたらい回しされた。公共の土地についてのワンストップコーナーの設置は出来ないか。
答 ワンストップコーナーの設置は考えていない。

問 公共施設で、土地が農地で所有者不明の所がある。改善できないか。
答 法務局と連携を取りながら早期に解決する。

問 市が水道管を管理する区分が配水管から官民境界までの間とあるがその根拠は。
答 愛西市水道事業給水条例施行規程による。

水道メーター器を通れば市民の管理



▲他自治体上下水道課の管理状況

イキイキコーナー

第10回

空手道連盟

練習日は 月火水木金
練習時間は 3時間(親水公園体育館)
部員数は 62人
女子20人 男子42人

指導者数は 4人
指導者からの一言
空手を通じて諦めない心を教えたい
保護者の思い
思いやりのある優しい子に
育って欲しい



空手で
学んだことは
礼儀作法



入部の動機は
体が小さかったので
強くなりたかった
から。

空手の魅力は
帯で自分がだんだん
上達していることを
感じる。



愛西市に
お願いしたいことは
給食をおいしくして

開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

小中高生などを対象としたサークル活動・
スポーツ団体などで、活動内容を撮影した
写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・
送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)
〈住所〉〒496-8555 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第23回取材しました!
愛西市の偉人⑤

政治家

三輪市太郎みわ いち たろう (旧八開村給父町)

Q いつ頃の人?

A 慶応3年(1867年)~昭和5年(1930年)・豪傑肌で任侠風な政治家。

Q どんな人?

A 酒造業を家督相続したが、濃尾震災等によって酒造業を断念、土木業へと転換し、明治34年(1901年)、三輪土木会社のちに中央土木合資会社を設立し日露戦争後、朝鮮・満洲へ進出するなど経営拡大と同時に政界への進出も果たした。

Q 政治家としての経歴は?

A 明治41年(1908年)八輪村(旧八開村)の村会議員を皮切りに、海西郡会議員、県会議員、衆議院議員を歴任した。

Q 大正13年(1924年)の総裁選の出来事は?

A 憲政会総裁加藤高明の要請を請け立候補した黒田淳二と総裁選を争う。政友会を除名された市太郎はかなりの苦境にさらされたが、「俺は黒田を敵として戦うのではない」「加藤高明を敵とするのだ」と豪語し、選挙を制した。

Q 政治家としての功績は?

A 海東・海西両郡の合併に尽力したほか、永和駅の開設、日光川改修問題、道路改修問題等、地域の問題解決に取り組み地域の発展に大きく貢献した。

三本の県道(岐阜県道8号線・県道126号線・県道128号線)を一箇所にまとめ木曾川架橋を計画。残念ながら完成には至らなかったが、その意志は引き継がれ昭和44年(1969年)に東海大橋が完成した。



▲東海大橋 給父町にある石碑
参考「海部津島人名辞典」
取材協力 石田泰弘(生涯学習課長兼佐織図書館長)

令和3年12月定例会の開催予定

11月30日(火) 本会議(招集日)議案上程

12月 7日(火) 本会議(第2日)一般質問

12月 8日(水) 本会議(第3日)一般質問

12月14日(火) 本会議(第4日)議案質疑

12月17日(金) 総務文教委員会

12月20日(月) 建設福祉委員会

12月24日(金) 本会議(最終日)討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

12月14日(火)午前10時~・午後7時~

12月15日(水)午前10時~・午後7時~

- 本会議及び常任委員会は午前9時30分から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の第5波もようやく落ち着いてきました。しかし、市民の生活が元に戻るにはまだ時間がかかりそうです。みなさんが健康に暮らされようと切に願っています。

今議会では、令和2年度決算の認定が審議されました。本市の一般会計が、例年の200億円規模から300億円を超える規模になりました。増額の多くは新型コロナウイルス感染症対策の交付金や補助金と事業費です。あらためて感染症の深刻さと社会への影響の大きさを感じます。

「議会だより」や開かれた議会の在り方について、みなさんのご意見・ご提案をお待ちします。

(真野 和久 記)

委員長 山岡 幹雄
副委員長 原 裕司
委員 真野 和久
吉川 三津子
竹村 仁司
佐藤 信男